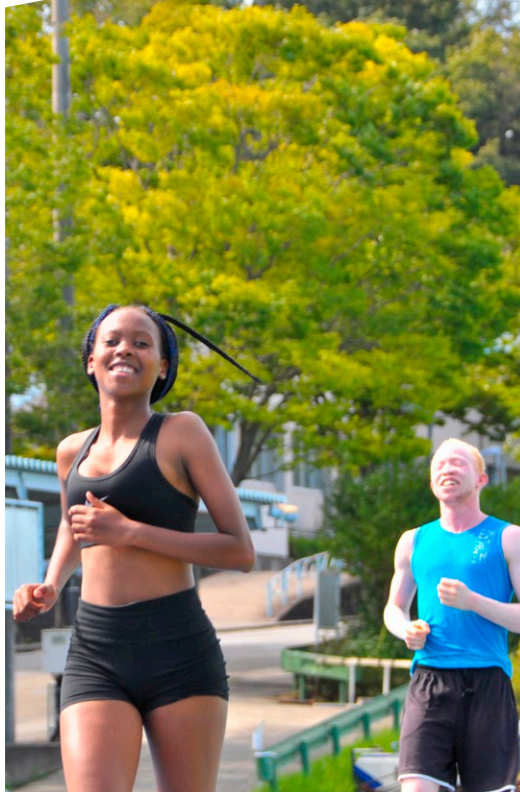


City of Yokohama Records of
the Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020

東京2020 オリンピック・パラリンピック 横浜市記録集



CONTENTS〈目次〉東京2020オリンピック・パラリンピック横浜市記録集

表紙写真=長田洋平/アフロススポーツ(ソフトボール、野球)、Picture alliance/アフロ(久保建英)

カラーグラビア

東京2020オリンピック・パラリンピック 大会概要	2
横浜の会場紹介① 横浜スタジアム、地元開催プレイバック(ソフトボール、野球)	4
横浜の会場紹介② 横浜国際総合競技場、地元開催プレイバック(サッカー)	8
横浜ゆかりのメダリスト23人	12
オリンピック聖火リレー、パラリンピック聖火フェスティバル	16
大会開催前イベント	18
大会期間中の取組、大会期間後の取組	20
事前キャンプ・交流	22
都市ボランティア	28
ごあいさつ	32

第1章 東京2020大会開催に向けて

横浜開催の軌跡	34	横浜市の体制構築	42
---------	----	----------	----

第2章 安全・安心な大会運営

大会運営本部・支部	48	食品衛生対策	60
ラストマイル	52	新型コロナウイルス感染症対策	61
交通輸送	56	会場責任者インタビュー	63
危機管理・医療救護体制	58		

第3章 CCY(横浜市・都市ボランティア)のあゆみ

CCY(横浜市・都市ボランティア)	66	City Cast Yokohamaインタビュー	71
-------------------	----	--------------------------	----

第4章 横浜から大会を盛り上げる

イベント	74	都市装飾	87
市内18区との連携	80	ライブサイト	88
学校と連携した取組	82	オリンピック聖火リレー	90
SNS等を活用した情報発信	84	パラリンピック聖火フェスティバル	92
広報ツール・PRグッズ	85	横浜市ゆかりの代表選手インタビュー	93

第5章 世界とつながる

事前キャンプ	96	事前キャンプにおける新型コロナウイルス感染症対策	106
英国オリンピック委員会、英国パラリンピック委員会 謝辞	100	ホストタウン	108
横浜ホストタウンサポーターインタビュー	102	共生社会ホストタウン	116

第6章 横浜のさらなる飛躍へ

次世代への贈り物・レガシー	118
---------------	-----

資料編	123
-----	-----

※本文中に掲載している所属・役職等は当時のものです。

東京2020オリンピック 大会概要

正式名称 第32回オリンピック競技大会(2020/東京)

英文名称 Games of the XXXII Olympiad

開催期間 2021年7月23日(金)～8月8日(日)

競技・種目数 全33競技・339種目

参加国・地域数 205および難民選手団

出場選手数 11,259人

日本代表選手数 583人(※交替および追加認定を含まない編成数)

競技会場数 42会場



TOKYO 2020



データで見る東京2020オリンピック

新競技・追加競技・新種目数

5 競技・**44** 種目

横浜ゆかりの出場選手

94 人

日本代表選手団のメダル獲得数

58 個(金27・銀14・銅17)

横浜ゆかりの選手のメダル獲得数

15 個(金7・銀3・銅5)

※野球・ソフトボールの各金3個(人)を含む

最高視聴率

56.4% ※オリンピック開会式、NHK総合

横浜市開催試合

38 試合

※横浜スタジアム=ソフトボール11・野球15
※横浜国際総合競技場=サッカー女子4・男子8



東京2020パラリンピック 大会概要

正式名称 東京2020パラリンピック競技大会

英文名称 Tokyo 2020 Paralympic Games

開催期間 2021年8月24日(火)～9月5日(日)

競技・種目数 全22競技・539種目

参加国・地域数 162および難民選手団

出場選手数 4,403人

日本代表選手数 254人(※交替および追加認定を含まない編成数)

競技会場数 21会場



データで見る東京2020パラリンピック

新競技・追加競技・新種目数

2 競技・**22** 種目

横浜ゆかりの出場選手

26 人

日本代表選手団のメダル獲得数

51 個(金13・銀15・銅23)

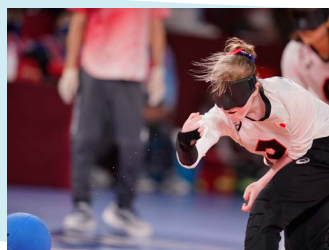
横浜ゆかりの選手のメダル獲得数

10 個(銀6・銅4)

※車いすバスケットボール男子の銀4個(人)を含む

最高視聴率

23.8% ※パラリンピック開会式。NHK総合



横浜の会場紹介①(野球・ソフトボール)

横浜スタジアム

2021年7月24日～8月7日にかけてソフトボール11試合、野球15試合が開催された横浜スタジアム。球場内外もオリンピック仕様に変貌したこの地で、両日本代表は金メダルを獲得し、歴史に名前を残した。



↑長い歴史を誇り、1948年に日本プロ野球初のナイトゲームを開催。そして初めての日米野球も行われた由緒ある球場が、大会期間中は藍色の会場カラーに染まった

旧市庁舎も活用

2020年5月に新庁舎へ移転した横浜市役所。その旧市庁舎も大会運営施設として、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会へ貸与。主にメディア対応や警備室などの用途で大いに活用された。

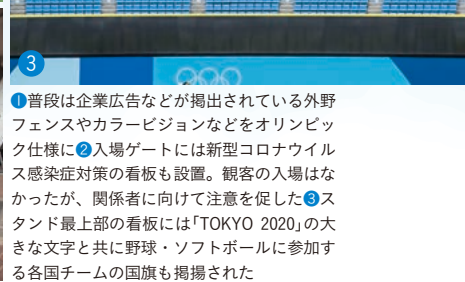
→旧市庁舎の敷地外周にはセキュリティフェンスが設置され、入館はアクセシビリティカード保有者に限定。厳格なセキュリティチェックが行われた



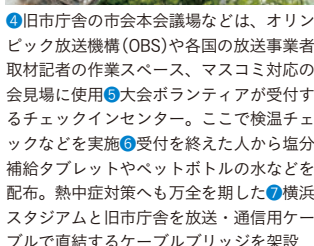


野球・ソフトボールの決戦会場 金奪取で輝かしい歴史を刻む

大会期間中にソフトボール11試合、野球15試合が開催された横浜スタジアム。この地で日本代表は両競技共に激戦の末、金メダルを獲得という、これ以上ない結果で幕を閉じた。同球場は、2020年3月に2年半の増改築工事を終え、特に両翼スタンドを拡充。従来の約29,000人から約6,000人増の約35,000人が収容可能になったほか、スタジアムが建つ横浜公園周辺も整備。オリンピックは無観客ながら、外野フェンスなど外装を東京2020大会仕様に変更。グラウンドにはオリンピックマークをペイントで描き、横浜DeNAベイスターズのロゴの部分などは人工芝に張り替えて対応した。



① 普段は企業広告などが掲出されている外野フェンスやカラービジョンなどをオリンピック仕様に②入場ゲートには新型コロナウイルス感染症対策の看板も設置。観客の入場はなかったが、関係者に向けて注意を促した③スタンド最上部の看板には「TOKYO 2020」の大きな文字と共に野球・ソフトボールに参加する各国チームの国旗も掲揚された



④旧市庁舎の市会本会議場などは、オリンピック放送機構(OBS)や各国の放送事業者、取材記者の作業スペース、マスコミ対応の会見場に使用⑤大会ボランティアが受付するチェックインセンター。ここで検温チェックなどを実施⑥受付を終えた人から塩分補給タブレットやペットボトルの水などを配布。熱中症対策へも万全を期した⑦横浜スタジアムと旧市庁舎を放送・通信用ケーブルで直結するケーブルブリッジを架設



↑13年後に再び優勝というドラマチックな展開に。全試合無失策の堅守も優勝の要因に→真のレジェンドとなった上野

地元開催
プレイバック
01



ソフトボール

13年ぶりに今大会で復活したソフトボール。横浜スタジアムでは決勝を含む4試合を戦った日本が、優勝した前回の北京2008大会と同様、米国と金メダルを争った末に連覇を達成。

絶対エース上野の伝説は続く 13年前の優勝の感動を再び

日本が優勝した北京2008大会以降、3大会ぶりに実施されたソフトボール。横浜スタジアムでの日本の初戦、イタリア戦は5-0と勝利。次戦のカナダ戦は山田恵里のサヨナラ打で勝ち、日本の勝負強さが光った。決勝の相手は13年前の決勝と同じ、宿命のライバル・米国。前日のオープニングラウンド最終戦で敗れた強敵との再戦は、先発した上野が6回途中まで好投。最終回にも再登板し完封勝利。上野は前回同様、マウンド上で優勝の瞬間を味わい、13年越しの連覇を成し遂げた。なお、横浜スタジアムは今大会のメイン会場として6チームが集い、3位決定戦などでも熱戦を繰り広げた。



①



②



③



④

① 瀬谷中学卒業の峰幸代は前回大会の正捕手。7月26日の米国戦で先発のマスクをかぶった② オーストラリア戦で投げる米国の190cm長身エース、モニカ・アボット③ 神奈川県出身の山田恵里は、カナダ戦で決勝打を放つ④ 3位決定戦は僅差でカナダが勝利

●決勝スコア

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計	H
日本	0	0	0	1	1	0	0	2	8
米国	0	0	0	0	0	0	0	0	3

●日本の今大会成績

7/21	オープニングラウンド	8-1	対オーストラリア	○	7/25	オープニングラウンド	1-0	対カナダ	○
7/22	オープニングラウンド	3-2	対メキシコ	○	7/26	オープニングラウンド	1-2	対米国	●
7/24	オープニングラウンド	5-0	対イタリア	○	7/27	決勝	2-0	対米国	○

※7/21・22は福島あづま球場にて実施

●横浜スタジアム開催ゲーム

競技日程	対戦カード(スコア)	セッション
7/24	オーストラリア● - カナダ○(1-7) 米国○ - メキシコ●(2-0) 日本○ - イタリア●(5-0)	オープニングラウンド
7/25	オーストラリア● - 米国○(1-2) カナダ● - 日本○(0-1) イタリア● - メキシコ○(0-5)	オープニングラウンド
7/26	日本● - 米国○(1-2) カナダ○ - イタリア●(8-1) メキシコ○ - オーストラリア●(4-1)	オープニングラウンド
7/27	①メキシコ● - カナダ○(2-3) ②日本○ - 米国●(2-0)	①3位決定戦 ②決勝



↑決勝の9回表、最後の打者を抑えたストッパーの栗林良吏を中心に喜びが爆発→横浜で悲願を達成した日本代表



野球

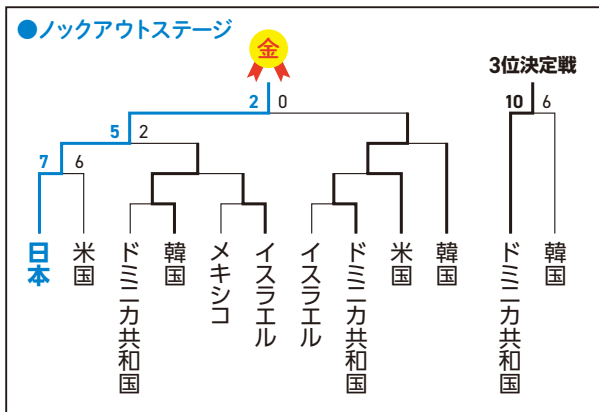
横浜スタジアムをメイン会場に開かれた野球で、金メダルへの期待を背負って戦った日本。初戦から激闘が続いたが総力戦で5連勝をマーク、決勝の横浜で歓喜の瞬間を迎えた。

3大会ぶりに復活した野球 自国開催の重圧に耐えて金

正式種目採用後の最高位はアトランタ1996大会の銀メダル。初の金メダル奪取は日本野球界の悲願だった。初戦のドミニカ共和国戦を福島あづま球場で行い、横浜へ移動後、4試合を戦った日本。準々決勝の米国戦は甲斐拓也のサヨナラ打で接戦を制し、準決勝の韓国戦は6回に同点にされるも突き放す。決勝では再び米国と対戦、3回に飛び出した村上宗隆のソロ弾などで2-0の完封勝利。激闘の連続だったが、稲葉篤紀監督の下、総力戦で勝ち抜き無傷で金メダルに輝いた。なお、横浜では決勝のほか、3位決定戦、準決勝、ノックアウトステージなど6か国がしのぎを削った。



①準決勝の韓国戦。横浜高校卒業の近藤健介が果敢な走塁を見せた②韓国は“2度目の準決勝”。横浜で米国と対戦③2試合2イニング無失点だった山崎康晃。所属チームの本拠地横浜でも登板した④ドミニカ共和国が韓国を下して銅メダル獲得



●横浜スタジアム開催ゲーム

競技日程	対戦カード(スコア)	セッション
7/29	イスラエル● - 韓国○(5-6)	オープニングラウンド
7/30	メキシコ● - ドミニカ共和国○(0-1) 米国○ - イスラエル●(8-1)	オープニングラウンド
7/31	日本○ - メキシコ●(7-4) 韓国● - 米国○(2-4)	オープニングラウンド
8/1	イスラエル○ - メキシコ●(12-5) ドミニカ共和国● - 韓国○(3-4)	ノックアウトステージ
8/2	イスラエル● - 韓国○(1-11) 米国● - 日本○(6-7)	ノックアウトステージ
8/3	イスラエル● - ドミニカ共和国○(6-7)	ノックアウトステージ
8/4	①ドミニカ共和国● - 米国○(1-3) ②韓国● - 日本○(2-5)	①ノックアウトステージ ②準決勝
8/5	韓国● - 米国○(2-7)	準決勝
8/7	①ドミニカ共和国○ - 韓国●(10-6) ②米国● - 日本○(0-2)	①3位決定戦 ②決勝

横浜の会場紹介②(サッカー)

横浜国際総合競技場

日本最大級の収容者数で、国際的知名度の高いこの会場ではサッカー女子4試合、サッカー男子8試合を開催。男子日本代表がフランスに4-0で快勝を収めたゲームや、男女の決勝戦など見どころあふれる激闘が展開された。



↑競技場としての収容人数は約72,000人で国内最大。最新式のLED照明が導入され、ピッチ全体を明るく照らし、セレモニーなどで舞台照明と一体となった演出も可能に

三ツ沢公園球技場

57年前にも使用された球技場で
各国代表チームが最終調整

1964年の前回東京大会でのサッカー会場にもなっていた歴史ある球技場。ここで各国代表チームが最終調整を行った。Jリーグやラグビーなどの試合も行われる本格的な設備の球技場ということもあり、コンディションの優れたピッチで選手たちは調整に励んだ。



練習場は



→青々とした芝生でコンディション抜群、周辺設備も整っている三ツ沢公園球技場

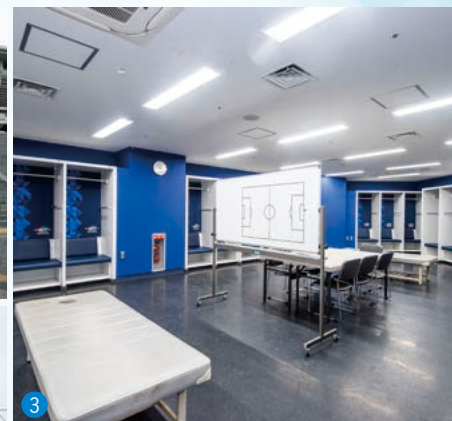


↑全試合無観客で行われたが、スタジアム内は「TOKYO 2020」の大会ロゴと紅の会場カラーで彩られた

←陸上トラックも備えた同スタジアムは、サッカーを中心にさまざまなスポーツイベントも開催されている。オリンピックでは男女合わせて12試合が行われた

日本最大級の多目的スタジアム サッカーの熱戦に世界が注目

2021年7月22、25、28、31日、8月7日にサッカー男子、7月27、30日、8月2、6日にサッカー女子が開催された横浜国際総合競技場。日本代表は7月28日のサッカー男子1次ラウンド、フランス戦にて4-0で勝利したほか、男女各決勝(男子はブラジル対スペイン、女子はスウェーデン対カナダ)が行われ、日本が世界に誇るスタジアムとして存在をアピールした。スタジアム内は、オリンピックのロゴや紅(くれない)の会場カラーと、客席のブルーのコントラストが映える仕様で、屋外のモニュメントや会場案内図も紅で統一された。また、内部にはメディア室や記者会見場なども設置され、世界中のメディアの発信基地となった。



①スタジアム外の案内板も会場カラーに統一
②同スタジアムの東ゲート付近。スタジアムのスケールの大きさが感じられる
③ブルーで統一された選手ロッカールーム

この2か所



小机競技場

横浜国際総合競技場に隣接 調整に最適なサッカー練習場

新横浜公園内にあり、横浜国際総合競技場に隣接する競技場。天然芝が敷かれ、コンディションが良いグラウンド。三ツ沢公園球技場と同様に各国代表チームが、ここでも最終調整を行った。

←107×71mのフィールドで、施設内には更衣室やシャワーなどが見えるレストハウスも完備されている



↑PK戦で優勝が決まった瞬間、カナダの選手たちは歓喜のダッシュ→試合ではカナダのMFフレミングがPKを沈めて同点に



地元開催
プレイバック
03



サッカー女子

横浜国際総合競技場が金メダルを争う舞台となって、カナダが初優勝を飾る。日本は2大会ぶりの本大会出場で健闘するも、ヨーロッパ勢の壁を越えられなかった。

ファイナルは120分超の死闘 真夏の横浜で生まれた名勝負

女子の決勝は急遽、横浜国際総合競技場で開催された。頂点を争ったのは、1次ラウンドで日本相手にドローのカナダと、準々決勝で日本を倒したスウェーデン。試合は前半にスウェーデンが先制、後半にカナダが追い付き、お互いに譲らず延長戦へ。だが決着はつかず、金メダルの行方はPK戦に委ねられ、GKラベが2本のPKを止める好守もあり、カナダが初の女王に輝く。惜敗したスウェーデンは準決勝でも横浜で戦っており、1点を争う好ゲームを演じた。ほか、横浜ではオランダも2試合を行っている。一方、日本はヨーロッパ勢に力負けし、決勝の“横国”までの道のりは遠かった。



①横浜出身の左サイドバック宮川麻都は2試合に先発出場②横浜の準々決勝では米国がオランダにPK戦で辛勝③元石川高校卒業の右サイドバック清水梨紗は攻撃参加が光った④準決勝の豪州対スウェーデンは大柄な選手が多く、空中戦も迫力満点

なでしこジャパンの復活ならず8強で散る

ロンドン2012大会で銀メダルだった日本が、復活を期して臨んだ今大会。初戦は優勝したカナダと引き分け、次戦は体格で勝る英国に黒星と苦戦が続く。それでも3戦目のチリ戦で、FW田中美南(写真)の決勝弾により自力で決勝トーナメントへ進んだが、準々決勝でスウェーデンに1-3で完敗。なでしこの戦いが終わった。



●横浜国際総合競技場開催ゲーム

競技日程	対戦カード(スコア)	セッション
7/27	オランダ○ - 中国●(8-2)	1次ラウンド
7/30	オランダ● - 米国○(2-2) (2 PK 4)	準々決勝
8/2	オーストラリア● - スウェーデン○(0-1)	準決勝
8/6	スウェーデン● - カナダ○(1-1) (2 PK 3)	決勝



↑2連覇を果たし喜ぶブラジル代表→今大会6試合5得点と活躍したブラジルの10番、FWリシャルリソンが決勝でゴールを狙う



サッカー男子

横浜国際総合競技場での決勝で、ブラジルが大会2連覇を達成し幕を閉じたサッカー男子。日本もエース久保らが奮戦して初の決勝進出も見えていたが、惜しくも果たせなかった。

リオ2016大会に続きブラジルが連覇を達成。日本代表は惜敗

男子の決勝が行われた横浜国際総合競技場。2002年の日韓W杯、2019年のラグビーワールドカップ™の各決勝も同スタジアムで開催されており、「世界三大スポーツイベント」の決勝を経験した世界初のスタジアムになった。その決勝では日本を準決勝で破ったスペインと、前回金メダルのブラジルが対戦。同スタジアムでの試合が1次ラウンドから数えて3戦目であったブラジルが、延長の末にスペインを破り連覇を飾った。なお、同スタジアムでは1次ラウンド、日本の圧勝劇となった日本対フランス戦を始め、2002年の日韓W杯の決勝カードであったブラジル対ドイツ戦なども行われた。



①0A枠のMF遠藤航は横浜市出身。ボランチの役割で全6試合に先発②同じく横浜市出身のDF板倉滉も全試合に出場し守備で貢献③ブラジルのFWリシャルリソンがドイツ戦でハットトリック達成④横浜での準々決勝はメキシコが6点、韓国が3点の乱撃戦に

53年ぶりのメダル獲得にあと一步届かず

歴代最強と称された今大会のU-24日本代表。1次ラウンドはMF久保建英(写真)の3戦連続得点や、フランス戦快勝など3連勝で突破した。だが準々決勝ニュージーランド戦ではPK戦で辛勝。準決勝スペイン戦ではゴールが遠く、延長戦で力尽きる。メキシコとの3位決定戦は前半から失点を重ね、53年ぶりのメダルを逃した。



●横浜国際総合競技場開催ゲーム

競技日程	対戦カード(スコア)	セッション
7/22	コートジボワール○ - サウジアラビア●(2-1) ブラジル○ - ドイツ●(4-2)	1次ラウンド
7/25	ブラジル△ - コートジボワール△(0-0) サウジアラビア● - ドイツ○(2-3)	1次ラウンド
7/28	韓国○ - ホンジュラス●(6-0) フランス● - 日本○(0-4)	1次ラウンド
7/31	韓国● - メキシコ○(3-6)	準々決勝
8/7	ブラジル○ - スペイン●(2-1)	決勝

東京2020オリンピック・パラリンピック 横浜 ゆかりの メダリスト 23人

横浜市出身や市内の大学に在学中など、地元ゆかりの代表選手からも今大会を盛り上げてくれた立役者を多数輩出。オリンピック15人とパラリンピアン8人、23人で計25個の輝くメダルを獲得した記憶と記録に残る選手たちの大活躍をここに刻み込んでおこう。

■ =オリンピック ■ =パラリンピック



やまだ えり
山田恵里
ソフトボール

外野手。3度目のオリンピック出場。北京2008大会に続いて今回も主将として臨んだ。4戦目のカナダ戦での劇的なサヨナラ打を含む猛打賞など、計14打数5安打をマーク。13年ぶりの金メダルを峰らと共に手にした



ゆかり:地元実業団チーム所属(02~20年)



きよはら なほ
清原奈侑
ソフトボール

捕手。2014年より地元チームに所属し、頭脳的なリードで投手を引っ張る。今大会は守備交代、代打で計2試合に途中出場。出番こそ少なかったが、ブルペン捕手役と持ち前の明るさでチームを支えた



ゆかり:地元実業団チーム所属



みね ゆきよ
峰幸代
ソフトボール

捕手。北京2008大会では、正捕手として上野由岐子とバッテリーを組んだ。2014年に一度引退も、今大会を目指して2016年に復帰。5戦目の米国戦で敗れはしたが、再び大舞台で先発捕手を務めた



ゆかり:瀬谷中学校卒業



あおやぎこうりょう
青柳晃洋
野球

投手。変則的な横投げの右腕。本来は先発だが、今大会ではチーム事情で不慣れな中継ぎ起用となり、苦しい投球を強いられる場面も。だがチームからの信頼は厚く、金メダル獲得に貢献した



ゆかり:横浜市出身



こんどうけんすけ
近藤健介
野球

外野手。準決勝の韓国戦は先発出場し、ほか2試合で代打出場。所属球団ではアベレージヒッターで、代打でも好結果。初戦のドミニカ共和国戦の9回裏に代打で右前打を打ち、サヨナラ逆転勝ちにつなげた



ゆかり:横浜高校卒業



やまさきやすあき
山崎康晃
野球

投手。2020年の不振から脱した守護神が2試合に登板し、計2回で無失点。出場した初戦のドミニカ共和国戦と準々決勝の米国戦は、共にサヨナラ勝ちを呼び込んだ。経験豊富で、若い救援陣のまとめ役も



ゆかり:地元プロ野球チーム所属



いりえせな
入江聖奈
ボクシング/女子フェザー級(54-57kg)

女子ボクシング初の金メダリスト。決勝でフィリピンのネスティー・ベテシオを相手に攻め続け、5-0で文句なしの判定勝ち。勝利の瞬間、大好きなカエルのように、びよんびよん跳ねて歓喜した



ゆかり:日本体育大学在学中



みやざわ ゆき
宮澤 夕貴

バスケットボール/女子
86対85の大接戦を演じた準々決勝のベルギー戦では、7本の3点シュートを沈め、チーム最多得点。日本バスケット史上初の銀メダルに貢献したシューター

ゆかり:横浜市出身



ほんだ ともろ
本多 灯

競泳/男子200mバタフライ
準決勝は8位通過だったが、決勝は得意のラストパートで自己ベスト記録を叩き出し、銀メダルを奪取。喜びを表した“マッスルポーズ”でも話題に

ゆかり:横浜市瀬谷区出身



ふみたけんいちろう
文田 健一郎

レスリング/男子グレコローマンスタイル60kg級
グレコローマンの日本勢として37年ぶりの金を狙ったが、決勝でキューバの選手に敗北。悔しさのあまり号泣したが、次のパリ2024大会で世界一を目指す

ゆかり:日本体育大学卒業



かわた ゆうき
河田 悠希

アーチェリー/男子団体
団体・準決勝では、大会連覇を達成した韓国に競り負けたが、3位決定戦は5対4の接戦でオランダを下す。同種目日本男子初のメダル獲得に、感激の涙

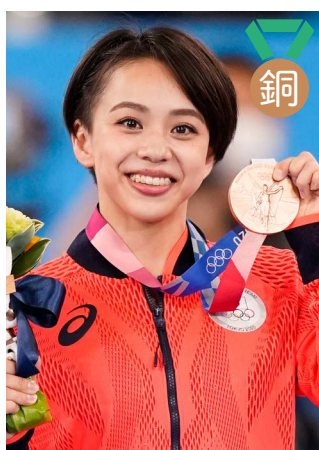
ゆかり:日本体育大学卒業



むとうひろき
武藤 弘樹

アーチェリー/男子団体
個人と混合団体は初戦敗退だったものの、男子団体の主役となる。3位決定戦のラストショットで、相手よりも的確の中心を射抜き、河田らと表彰台へ

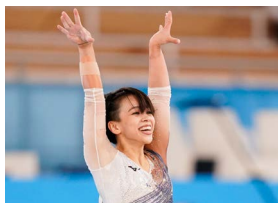
ゆかり:慶應義塾大学卒業



むらかみ まい
村上 茉愛

体操競技/女子種目別ゆか
跳躍力抜群で、演技ではH難度の大技「シリバス」も決め、思わず笑みがこぼれた。日本女子体操初となる個人種目でのメダル獲得の快挙を達成した

ゆかり:日本体育大学卒業



はりもとともかず
張本 智和

卓球/男子団体
シングルスは4回戦で敗れるも、団体戦で切り替え、3位決定戦では韓国のエースを破る。自身は初戦からダブルスを含めて、6戦全勝と波に乗った

ゆかり:日本大学高等学校在学中



やびくしょうへい
屋比久 翔平

レスリング/男子グレコローマンスタイル77kg級
2回戦で敗れるも、敗者復活戦で勝ち進む。3位決定戦ではイランの選手を圧倒し、13対3のテクニカルフォール勝ち。勝利の瞬間、雄叫びを上げた

ゆかり:日本体育大学卒業





とみた うちゅう
富田宇宙

水泳/男子400m自由形S11ほか

400m自由形と100mバタフライで銀、200m個人メドレーで銅とメダル3個を獲得。100mバタフライでは、ライバルの木村敬一と金銀のワンツーフィニッシュ

ゆかり: 日本体育大学大学院在学中



あかしりゅうが
赤石竜我

車いすバスケットボール/男子

大会当時は20歳でチーム最年少。コート狭しと走りまくり、運動量とガッツで勝負。準決勝の英国戦では大柄な相手にひるまず、体を張って守備に貢献

ゆかり: 日本体育大学在学中



たかまつよし のぶ
高松義伸

車いすバスケットボール/男子

予選から決勝まで8試合中6試合に途中出場。投入されると、持ち前の運動量とスピードでボールに食らい付き、試合終盤のディフェンスを引き締めた

ゆかり: 日本体育大学在学中



ちょうかい れん し
鳥海連志

車いすバスケットボール/男子

圧巻の素早さと妙技で魅了。決勝の米国戦では、両チーム最多のリバウンド18本を記録するなど攻守の起点に。車いすバスケット日本初のメダルを引き寄せた

ゆかり: 日本体育大学在籍(17~19年)



ふるさわたくや
古澤拓也

車いすバスケットボール/男子

途中出場で攻撃を援護。準決勝・英国戦の第3Qで連続得点を挙げて、チームは逆転に成功。決勝も米国を追い掛ける展開の中、果敢にシュートを狙った

ゆかり: 桐蔭横浜大学卒業



すずきともき
鈴木朋樹

陸上競技/混合4×100mリレー

異なる障害のある4人で行う新種目、混合4×100mユニバーサルリレーのアンカー。鈴木は4着でゴールしたが中国が失格となり、3位に繰り上がる

ゆかり: 横浜ジュニアチーム出身

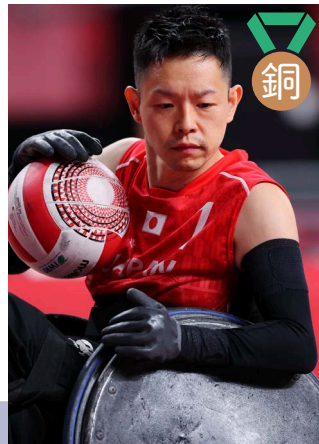


かけはた えい こ
欠端瑛子

ゴールボール/女子

ロンドン2012大会の金メダリスト。3位決定戦のブラジル戦は決勝点を含む3得点の活躍で、日本は6対1で圧勝した。父は元プロ野球選手の光則さん

ゆかり: 横浜美術大学卒業



わかやま ひ ふ み
若山英史

車いすラグビー/混合

リオ2016大会に続き、2大会連続で銅メダルをつかむ。クレーバーな守備を売りに全5試合に出場。要所では攻撃に転じて、通算10トライを挙げている

ゆかり: 地元実業団チーム所属(08~19年)



遠くギリシャから横浜へようこそ オリンピック聖火リレー



神奈川県内での公道走行は中止となったオリンピックの聖火リレー。2021年6月30日、聖火ランナーによる点火セレモニーとセレブレーションが、横浜赤レンガ倉庫で行われた。



点火セレモニー

走行を予定していた約90人の聖火ランナーが、複数のグループに分かれて聖火をつないだ

①神奈川区出身のタレント出川哲朗さん(左)は終始笑顔②俳優の草笛光子さん(右)は華やかに登場
③横浜市スポーツ協会会長の山口 宏さん(左)もさっそうと聖火をつなく④俳優の谷原草介さん(後列右から3番目)ら、達成感あふれる表情の皆さん



セレブレーション

神奈川県内の最終聖火ランナーの到着を祝うイベントで、聖火皿への点火を始め、ダンスステージなどのプログラムが実施された

↑最終聖火ランナーのEXILE ÜSAさん(右)が聖火皿へ点火←林文子横浜市長(当時、左から2番目)、黒岩祐治神奈川県知事(左から3番目)や橋本聖子大会組織委員会会長(左から5番目)が聖火の到着を見届けた←横浜市消防音楽隊による「Bon Voyage」など吹奏楽の演奏

共生社会への想いをひとつに

パラリンピック聖火フェスティバル

2021年8月12～15日、神奈川県でパラリンピック聖火フェスティバルが開催された。
横浜市は、8月13日に開港広場公園前のガス灯から「横浜の火」の採火を行った。



横浜市採火式

- ① 近代文化の象徴であるガス灯から共生社会への想いを込めて採火
- ② パラリンピックアルペンスキー金メダリストの大日方邦子さん(右)や、横浜市スポーツ推進委員連絡協議会会長の平井孝幸さん(中)、林琢己横浜市副市長(左)が参加
- ③ 高さ約4mのガス灯からランタンへ火を移す
- ④ 大日方さんと、パラアイスホッケー銀メダリストの上原大祐さん(右)のトークイベントも開催

神奈川県集火・出立式

↓8月15日に、県内全市町村で採火された火がひとつになって東京へ出立。当日その模様はオンライン配信された→パラアスリートたちが語るパラリンピックの魅力や、黒岩祐治神奈川県知事(左端)やタレントの高橋みなみさん(右端)らのトークショーなども行われた。出立者として「ともに生きる社会かながわの火」をトーチに灯すのは車いすテニスの二條実穂さん(中)



横浜から開幕に向けて盛り上げる

大会開催前イベント



2017年から節目ごとに実施してきた開幕へのカウントダウンイベント。大会延期後も実施方法を変えながら、市民の皆さんや大会パートナーと共に横浜から大会の盛り上げを図った。



2017年
9/3~12

東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー

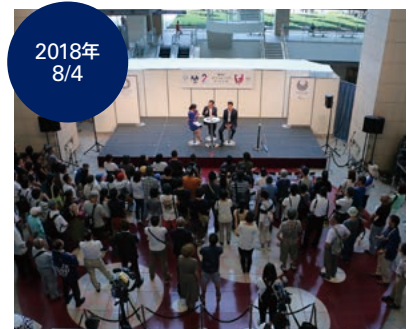
オリンピック&パラリンピックフラッグが全国を巡回。横浜では、フラッグツアーアンバサダーの三浦大輔さんが引き継ぎを行い、その後、市内区役所などを巡った



2017年
10/28・11/4
・11/25

東京2020オリンピック・パラリンピック1000日前キャンペーン in 横浜

オリンピック・パラリンピック開会1000日前を記念して、ソフトボールの山田恵里選手らによるトークショーや福島の子どもたちとの野球交流などを行った



2018年
8/4

横浜にオリンピックがやってくる! 【Tokyo 2020 2 Years to Go!】 in Yokohama

クイーンズスクエア横浜で開催。元野球日本代表の三浦大輔さんのトークショーや大会マスコット撮影会ほか、パラリンピック競技のポッチャ体験会なども



2019年
4/13~6/2

フラワーフォトスポット ~ Welcome to TOKYO2020 ~

パラリンピック開会500日前から期間限定で開港広場公園に設置。自転車(BMX)の内野洋平選手とパラトライアスロンの円尾敦子選手を招いたお披露目式も開催



2019年
3/16

500 Days to Go! フェスティバル~東京2020開催まであと500日!~

新横浜公園一帯で開催。「アルケミスト スペシャルステージwith岡村小」などのステージイベントや、車いすバスケット体験など多彩なコンテンツで盛り上がった



2019年
3/12

500日前セレモニー in 横浜

オリンピック500日前から横浜国際総合競技場の大型ビジョン(浜鳥橋交差点前)でカウントダウン表示を開始。除幕式には車いすラグビーの若山英史選手らが出席



2019年
7/13

1 Year to Go!フェスティバル ~東京2020開催まであと1年! in 横浜~

横浜スタジアムでの1年前イベント。ステージでは市内全18区からダンスや音頭、和太鼓のチームらが演目を披露。アスリートトークショーやFoorinの「パブリカ」、グラウンドではBaseball 5体験会なども行われた



2019年
8/17

~Tokyo2020 Paralympic Games 1 Year to Go!~ 1年前記念イベント in 神奈川

パラリンピック1年前を記念して、横浜赤レンガ倉庫で神奈川県と共催。元車いすラグビー日本代表の三阪洋行さん、義足ダンサーの大前光市さんのトークも



2020年
1/25

200 Days to Go! フェスティバル in 横浜~東京2020開催まであと200日!~

ららぽーと横浜にて開催。元サッカー日本代表の中澤佑二さんやパラ水泳の富田宇宙選手、パラ陸上の兎澤朋美選手らのトークショーやスポーツ体験会なども

大会延期後も実施方法を変えながら取組を継続

今、スポーツに できること in 横浜。 for Tokyo2020

大会延期後の初の本格的イベント。卓球の石川佳純選手などアスリートからのメッセージや競技PRなどをオンライン配信。またコスモクロック21にて特別ライトアップを実施

2020年
7/23-8/24



250 Days to Go! オンライン フェスティバル for Tokyo 2020 in 横浜

パラ陸上の井谷俊介選手らのトークショーや、ホストタウン応援ステージで西アフリカの伝統音楽などをオンライン中継したほか、スタジアムの内部を紹介する映像などを配信

2020年
11/15~
2021年
1/4

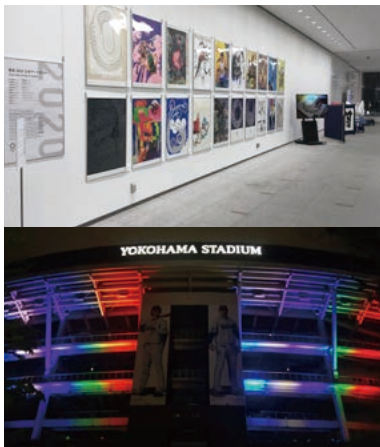


横浜スタジアム スタジアムツアー

100日前 キャンペーン in 横浜

市庁舎にて、東京2020公式アートポスター全20作品を展示。併せて横浜に縁のあるポスター制作者からのメッセージ動画も配信。また、4月14日、5月16日には2つの競技会場などで記念ライトアップも行われた

2021年
4/14~
5/16



神奈川県・ 横浜市ゆかり選手 オンライン壮行会

セーリングの須長由季選手やボートの荒川龍太選手、パラ水泳の日向楓選手とのトーク中継ほか、多くの出場内定選手からのメッセージや応援パフォーマンスなどを配信した

2021年
6/19



学校と連携した取組

大会開催に向けて市内の学校ではオリンピック・パラリンピック教育推進校を中心にさまざまな取組を実施。トップアスリートとの交流やパラスポーツ体験を通して、スポーツの素晴らしさや共生社会についての理解を深めていった



↑パラリンピアンとの交流
(元車いすラグビー日本代表の三阪洋行さん)



↑パラスポーツ体験



↑オリンピアンとの交流
(元サッカー日本代表の石川直宏さん)



↑パラスポーツを支える人たちの講演
(パラトライアスロンの米岡聡選手とガイドの榎浩平さん)



↑パラスポーツ大会観戦(横浜国際プールでのジャパンパラ水泳競技大会)

横浜市立学校 カウントダウンリレー

開会まで、全市立学校によるカウントダウンリレーを実施。学校ごとに趣向を凝らした作品が集まった



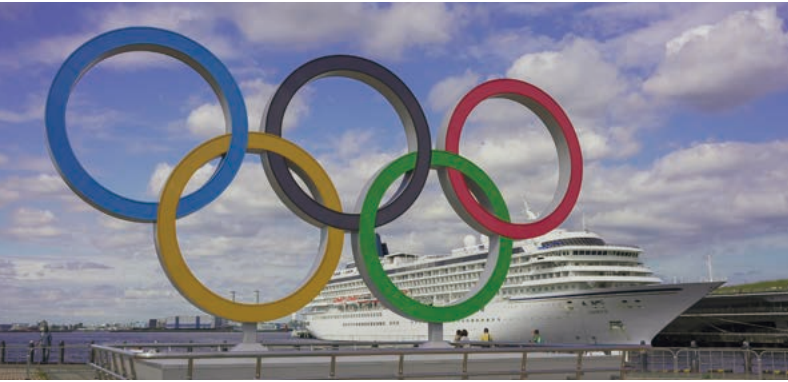
横浜からエールを送る

大会期間中の取組



赤レンガパークにオリンピックシンボルのモニュメントを設置するなど、大会前から期間中にかけて市内各所でライトアップやフラッグ掲示ほか、多彩な取組を実施。大会応援ムードを大いに盛り上げた。

©Tokyo 2020



「動くスポーツピクトグラム」を活用したライトアップ

コスモクロック21で実施。オリンピックの開会式で世界中の注目を浴びた「動くスポーツピクトグラム」を夜の観覧車に投影。オリンピック全33競技のピクトグラムが連続で動きまわって圧巻だった



©Tokyo 2020

オリンピックシンボルを活用した大型モニュメント

2021年6月29日～8月8日に赤レンガパークに設置。モニュメントは鉄骨製で、高さ約6m、幅約9.5m。緊急事態宣言発令前までは、19時から白く発光するライトアップも



都市装飾

競技会場周辺や新市庁舎周辺などでは、野球、ソフトボール、サッカーの地元開催競技の大懸垂幕や街灯バナーフラッグが掲げられた





横浜 スポーツ ガーデン

大会期間中、市庁舎アトリウムでスポーツにまつわる展示などを楽しめるイベントを開催した(7月21日～8月8日、8月24日～9月5日)

横浜市立学校 全校が参加した 学校作品展示

オリンピック・パラリンピック教育推進校を始めとする、各学校で制作した大会応援作品などを市庁舎アトリウムで展示。開催が楽しみになる、手作りの温かみある作品が並んだ



←市民から寄せられた写真で制作した「笑顔でつくる！フォトモザイクアート」↓お台場・夢の大橋で灯る聖火台の日本唯一のライブ中継も行われた



大会の感動や興奮を共有する 大会期間後の取組

熱戦が繰り広げられたオリンピック・パラリンピックが終わり、コロナ禍でも全力でプレーした選手たちの活躍を改めて見ていく、横浜市の取組を紹介する。

企画展(報道写真展※・特別展・巡回展)

東京2020大会の報道写真や、東京2020聖火トーチ、事前キャンプを行った英国代表選手団のサイン入り横断幕などを展示。横浜市内各区を巡回した ※共催：ニュースパーク(日本新聞博物館)



2021年
9/7～
12/28

神奈川・横浜アスリート感謝会 ～おうちからARIGATOを届けよう!～

神奈川県や横浜시에縁のある選手に感謝の声を伝え、同時に、選手が大会に挑んだ思いに迫るオンラインイベントを県と共に開催した



2021年
9/26

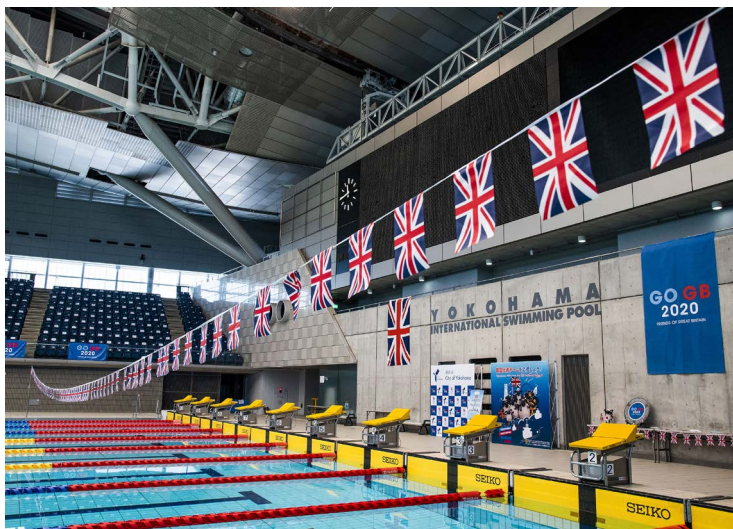


①ソフトボール金メダリストの山田恵里選手②メダル3個を獲得したパラ水泳の富田宇宙選手③車いすバスケットボール銀メダリストの古澤拓也選手(右)、鳥海連志選手の2人もそろってトークを披露

世界各国の代表選手が横浜で最終トレーニング 事前キャンプ・交流



英国、ボツワナ共和国、チュニジア共和国などが市内各所で事前キャンプを実施。
また来日した代表選手らと地元の子もたちが交流を図り、心温まる瞬間を共有した。



↑横浜国際プールでは英国国旗を場内に多数掲げて、心からの歓迎ムードに

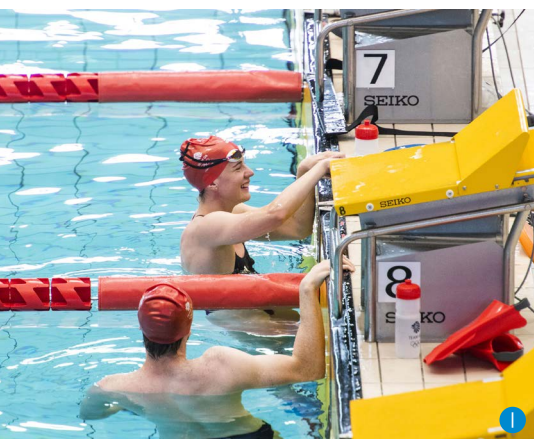


オリンピック代表チーム

2021年7月8日～8月1日 市内外5か所

総勢約600人もの代表選手団が
市内外各所にて最終調整を行う

水泳競技、柔道、体操、卓球、サッカー、陸上競技、ラグビー(7人制)など、22競技の代表選手団約600人がキャンピング。横浜国際プールや慶應義塾大学 日吉キャンパス、横浜カントリークラブ、パシフィック横浜ペDESTリアンデッキや川崎市内の施設でも最終調整を行った。



①リラックスした雰囲気でのトレーニング中の選手 ②練習の合間には、プールサイドでコーチ陣との熱気を帯びたミーティング場面もよく見られた ③国際基準の本格的なプールで本番さながらの練習 ④横浜市のスタッフも親密なコミュニケーションを取って、チームをサポート ⑤プールの仕切りガラスを、市内児童が英国の地図など華やかなステンドグラス調に飾り、ムード作りにはひと役

パラリンピック代表チーム

2021年8月13日～9月1日 市内外4か所

欧州随一のパラスポーツ強豪国 英国代表チームへの練習場を提供

パラリンピック発祥の地・英国の代表選手団、9競技約200人の事前キャンプを横浜市・川崎市・慶應義塾大学が連携してサポート。慶大ではアーチェリー、柔道など8競技約100人が練習。横浜カントリークラブやパシフィコ横浜周辺も、陸上競技の調整などで使用された。



↑横浜カントリークラブでの練習。一般客が利用していないゴルフコースをランニング→コーチからの指導にも熱が入る。同クラブでは早朝と夕方に陸上競技の中長距離選手がラスト調整に励んだ



↑慶大日吉キャンパスでの代表選手のウェイトトレーニング。みなぎる気合と体格に圧倒される



①集中力が勝負のアーチェリー選手の真剣な表情②試合同様の気迫あふれる車いすフェンシング③屋外トラックの横にもバイクマシンなどを設置し、足腰のトレーニングに活用。屋根付きテントで、暑さ対策もしっかりとされた
※写真は全て慶大日吉キャンパス



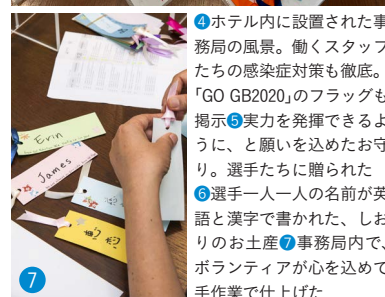
④宿泊先のヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテルから練習会場に向かう選手たちをお見送り⑤パシフィコ横浜ペDESTリアンデッキでは海風を感じながら、さまざまな競技の選手たちがジョギングや軽い運動を行った⑥車いす対応バスでスムーズな移動に配慮⑦選手たちの車いすは種類も多彩。宿泊先の横浜ベイホテル東急にて



英国事前キャンプを支えた人たち



123英国事前キャンプ横浜市ボランティア「横浜ホストタウンサポーター」が、ボードにさまざまなメッセージを書いてお出迎え。「GO GB2020」グッズも用意して、熱烈なムードで選手たちをサポートした



4ホテル内に設置された事務局の風景。働くスタッフたちの感染症対策も徹底。「GO GB2020」のフラッグも掲示5実力を発揮できるように、と願いを込めたお守り。選手たちに贈られた6選手一人一人の名前が英語と漢字で書かれた、しおりのお土産7事務局内で、ボランティアが心を込めて手作業で仕上げた



横浜市・川崎市・慶應義塾大学三者連携で取り組んだ「GO GB」

2016年より英国と、横浜市・川崎市・慶應義塾大学の三者が協議を重ね、英国オリンピック・パラリンピック代表チームの事前キャンプ成功へ向けに連携して取り組んだ。選手を始め、市民にも安心してもらえるように、感染症対策に万全を期したほか、ボランティアの活躍も大きな力になった。

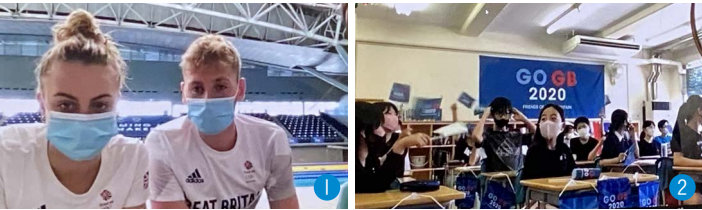


←三者で「Friends of Great Britain」を結成し、「GO GB」(がんばれ、英国)を合言葉に英国代表チームを応援。三者それぞれの会場が「GO GB」の同じデザインで飾られて、一体感を創出した

子どもたちとの交流

応援メッセージの掲示や 小学生によるオンライン交流

都筑区内のオリンピック・パラリンピック教育推進校の協力の下、英国代表を応援する「GO GB旗」などにメッセージを書いて練習会場に掲示。また、事前キャンプ期間中に区内小学校の児童らが、選手たちにオンラインで質問したり、応援メッセージを贈って、温かみのある交流を行った。



①横浜国際プールとオンラインでつなぎ、英国競泳チームと児童が交流を図った
②児童は選手やコーチらに熱心に質問したり、エールを送った
③北山田小学校、牛久保小学校の児童たちがオンライン交流を行った

→英国競泳チームの事前キャンプを見学、取材に訪れた都筑区のジュニア記者たち→競泳チーム事前キャンプディレクターのティム・ジョーンズさんにオンライン取材



↑GO GB旗、英国国旗、都筑区旗の3種14枚に子どもたちが寄せ書きをして練習会場に掲示。選手村出発時には英国競泳チームに贈呈



↑東山田小学校の児童たちが横浜国際プールにてサプライズでお見送り。選手たちは手を振り声援にんでいた



横浜と英国をつなぐ親善大使 「ひつじのショー」

英国と横浜の架け橋となる親善大使に就任している英国生まれの世界的人気キャラクター「ひつじのショー」。6種類の横浜オリジナルデザインを制作し、パネルを横浜国際プールや横浜市イギリス館、横浜開港資料館など5か所で展示。さらにショーが市内イベントに参加したりポスターにも登場など、英国代表チームの事前キャンプを存分にPRした。



Shaun Sheep SHAUN THE SHEEP AND SHAUN'S IMAGE ARE ™ AARDMAN ANIMATIONS LTD. 2021

ボツワナ共和国

オリンピック代表チーム

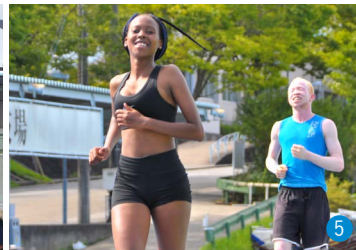
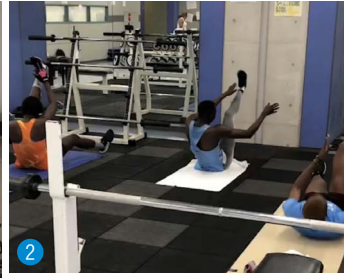
2021年7月7日~8月5日 市内2か所

アフリカ南部ボツワナから来浜 陸上競技と水泳の代表選手団

2つの会場で大会前の最後の調整を行ったボツワナ。青葉区にある日本体育大学 横浜・健志台キャンパスのプール、陸上トラックでの練習や、港北区の武相中学・高等学校ではトレーニングルームなどを利用。陸上競技と水泳の代表選手たち総勢24人が汗を流した。



①②武相高校の本格的なトレーニングルームでは、マシンを利用して、ストレッチや筋トレを行った③日本体大で練習した陸上競技男子4x400mリレーの代表選手4人が銅メダル獲得の快挙。同国唯一のメダルに



④オリンピック代表選手団に続き、横浜で事前キャンプを行ったパラリンピック代表選手団の7人
⑤⑥日本体大の陸上トラックで笑顔も交えて、試合前のコンディションを整えた

パラリンピック代表チーム

2021年8月13日~22日 市内2か所

ボツワナから突然の依頼で実現 パラ代表選手団の事前キャンプ

先に来浜していたボツワナのオリンピック代表選手団の事前キャンプ中に、同国パラリンピック陸上競技チームからオファーが舞い込み、急遽ながらも実現した事前キャンプ。横浜のおもてなし力が発揮されたの対応だった。総勢7人のパラ代表選手団が、日本体育大学 横浜・健志台キャンパスのほか、港北区の横浜市スポーツ医科学センターでトレーニングを行った。

子どもたちとの交流

市内の園児や小学生が 応援メッセージを贈る

港北区内5つの保育園の園児と、都筑区茅ヶ崎小学校の児童が選手に向けた応援メッセージパネルを制作し、キャンプ期間中の宿泊施設に掲示。また、パラアスリート応援ソングの動画放映と応援メッセージを届けたほか、代表選手団やボツワナ臨時代理大使とのオンライン交流も行った。

→港北区内5つの保育園園児らによる手作りのメッセージに喜ぶオリンピック代表選手
↓茅ヶ崎小学校からの応援作品。選手団の宿泊施設に掲示



→盲目のシンガーソングライター・栗山龍太さんが歌うパラアスリート応援ソングの動画で、一緒に歌って盛り上がるパラ代表選手たち



↑茅ヶ崎小学校4年生とオリンピック代表選手団らとのオンライン交流会も実施
→宿泊先のホテル横浜キャメロットジャンプで、園児たちの贈り物に笑顔



チュニジア共和国

オリンピック代表チーム

2021年7月10日～26日 市内3か所

柔道とアーチェリーの代表選手団が日本体育大学などで練習を行う

アフリカ北部にあるチュニジアから、柔道とアーチェリー代表合わせて8人の代表選手団が来浜。日本体育大学 横浜・健志台キャンパスと武相中学・高等学校、鶴見スポーツセンターの市内3か所で、大会直前のトレーニングを行った。



① 同国のフレンドリーなアーチェリー代表選手。横浜市のウェルカムメッセージなどを見てニコニコリ
②③ 柔道代表選手は日体大の健志台キャンパスの柔道場で気合いの入った稽古を行っていた



④⑤ 代表選手らと児童がオンライン交流。児童からの温かみのあるエールや質問が選手たちに届けられた⑥ 宿泊先の新横浜グレイスホテルでパソコン越しに質問などに答えた。スマホで交流の様子を記念撮影する選手も

子どもたちとの交流

選手団が食事する会場で応援メッセージを放映

チュニジアと交流のある神奈川県白幡小学校の児童が、選手に向けた応援動画を制作して選手の食事会場で放映。6年生は、柔道の代表選手団やチュニジア大使と、貴重なオンライン交流を行い親睦を深めた。港北区区内5つの保育園の園児による応援メッセージ掲示も好評だった。

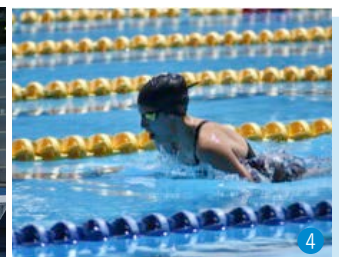
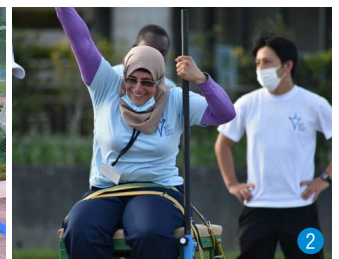


スポーツ庁事業参加国のパラリンピック代表選手

2021年8月14日～20日

「戦略的二国間スポーツ国際貢献事業」によって9か国の代表選手たちが来浜

日本体育大学がスポーツ庁から委託を受けて実施する「戦略的二国間スポーツ国際貢献事業」で、横浜・健志台キャンパスが9か国、計24人のパラリンピック代表選手を受け入れ、横浜市がサポート。セントビンセント、バルバドス、ウルグアイ、ザンビア、マラウイ、タンザニア、レバノン、モルディブ、イエメンといった中南米や中東、アジア、アフリカ諸国から来浜した水泳と陸上競技の代表選手たちが、最後のコンディション調整に精を出していた。



①②③④ 世界各国からチャンピオンした、さまざまな競技のパラ代表選手たち。水泳は8月14日～20日、陸上競技は8月15日～20日にトレーニングを行った

ボランティアの旅は未来へと続く

都市ボランティア

City Cast

Yokohama

競技会場周辺での案内や美化活動などを予定していた、約2,000人の都市ボランティア。無観客開催で大会期の活動は行われなかったが、約3年にわたる準備の軌跡を振り返る。



↑2019年10月6日に横浜文化体育館で行われたキックオフイベントの様子

約3年にわたり準備を続けてきた 都市ボランティアの活動記録

緊急事態宣言中であった2021年7月8日、大会開幕直前で無観客開催が決定。主に競技会場周辺で、来場者への案内などを予定していた都市ボランティアの活動は、中止となった。オリンピックの競技会場周辺などで案内や美化活動を行うため老若男女、幅広い世代の都市ボランティア約2,000人が、約3年にわたって準備を進めてきた。2019年のキックオフイベントからスタートし、世界中の方々に「横浜の顔」としておもてなしするため、オリンピック・パラリンピックの概要や、大会本番の活動を学ぶ研修を受講するなど、さまざまな準備に取り組んだ。大会が延期になったコロナ禍においても、オンライン交流会などを通じて、参加者同士の絆を深めていた。

What's CCY!?

「City Cast Yokohama
(横浜市・都市ボランティア)」の略



活動には、案内(案内・案内デスク・おもてなし)、美化推進、事務局補助、イベント補助の役割があり、主な活動場所は競技会場周辺、会場最寄り駅周辺、ラストマイル(会場から最寄り駅までの道程)上、東京2020ライブサイト会場などが予定されていた

CCY ボランティアジャーニー

- 2018年9～12月 募集
- 2019年5月、6月 オリエンテーション
- 2019年10月6日 キックオフイベント
- 2019年11月、12月 共通研修
- 2020年2月～ 任意研修①
- 2020年3月～ 東京2020大会開催延期決定、活動継続意向確認
- 2020年11月～ 任意研修②
- 2021年1月、2月 オンライン交流会
- 2021年3月、4月 役割別研修
- 2021年6月上・中旬 リーダーシップ研修・フォローアップ研修
- 2021年6月11日 ライブサイト・パブリックビューイングの中止決定
- 2021年6月下旬 活動場所別研修
- 2021年6月下旬 ユニフォーム受取
- 2021年7月8日 東京2020オリンピック無観客開催決定
- 2021年7～9月 東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催
- 2021年10月16日 City Cast Yokohama感謝会

City Cast Yokohama ボランティアジャーニー

2018年9月の募集から大会期間中、そして2021年10月の感謝会までの道のりを示した、約3年の準備の軌跡

2018年
9月～12月

横浜市・都市ボランティア募集

募集人数2,500人程度に対し、5,834人と
予定の倍以上におよぶ多くの方から、
参加申し込みが届いた

東京2020オリンピック・パラリンピック
横浜市・都市ボランティア募集

募集期間 2018年9月12日(水)～2018年12月12日(水)




開催会場

2020年夏、世界最大の歓喜が再び東京。そして歴史に輝くときです。
安全で円滑な大会運営を実現し、輝きあふれる東京の心を「あなただけの心」でお届けします。
横浜市・都市ボランティアを募集します。
東京2020大会の開催者と一緒に、多くの笑顔の心に響き渡る「大会となるよう盛り上げていくため、
あなたの手をぜひおかせたい」

活動期間
オリンピック開会式
2020年7月24日(金)～25日(土) 26日(日)
パラリンピック開会式
2020年9月4日(土)～9月8日(日)
2020年9月12日(水)～9月16日(日)

募集人数
2,500人程度



▶ボランティア募集に関する詳細はホームページを参照してください。 | 更新ボランティア | 経路案内

主催：公益財団法人東京2020大会 協賛：横浜市 横浜市ボランティア事務局 事務局：〒220-8588 横浜市磯子区磯子1-1-1 TEL: 045-650-7000 FAX: 045-651-0004

2019年
5月、6月

オリエンテーション

抽選に当選した3,000人を対象に、説明会や面談のほか、ユニフォームのサイズ確認や配慮希望者へ個別相談を実施



2019年
10月6日

キックオフイベント

約2,100人のCCYが横浜文化体育館に集まり、オリンピック・パラリンピアンたちによるトークショーや、過去大会のボランティア経験者たちによるパネルディスカッションで盛り上がった。参加者は登壇者の話を楽しみながら、活動への期待に胸を膨らませた



2019年
11月、12月

共通研修

参加者同士の意見交換などを通じて、東京2020大会の概要、ボランティア活動の意義や活動内容、心構えなどCity Castの基礎知識について学ぶ。この研修に参加することで、CCYとしての意識も高まった



2020年
2月～

任意研修①

任意研修第1弾の「障害者サポート研修」では、障害者の理解やサポート方法を学んだ。また危機管理研修、コミュニケーション研修なども行った。この頃からコロナの感染状況が悪化し、以後の任意研修はオンラインへ変更に



横浜市スポーツボランティア インタビューリレー ～活動から得たレガシー～



※本収録は 出演者・スタッフともに感染症対策に配慮して撮影しています

2020年
11月～

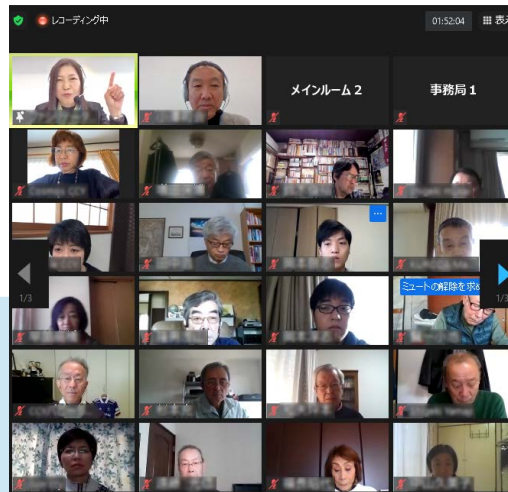
任意研修②

延期後、初めての研修として「語学×コミュニケーション」など「横浜市スポーツボランティア インタビューリレー」を動画配信。海外からのゲストへの対応や、ボランティア経験者の話などを通じて、大会までの間のモチベーションの維持やスキルアップにつなげた

2021年
1月、2月

オンライン交流会

さまざまな参加者をオンラインでつなぎ、グループディスカッションなどを実施。久しぶりのCCY同士の交流に、参加者から多くの喜びの声が聞かれた



2021年
3月、4月

役割別研修

競技会場に訪れる方の案内や美化推進、事務局補助、イベント補助などの役割別に振り分けられたCCYが、オンラインで研修を受講。具体的な活動内容が示されたことで、参加者の気持ちも新たになった

2021年
6月

リーダーシップ研修・ フォローアップ研修

「サポート型のリーダーシップ」のコミュニケーションの重要性などを動画で学ぶ研修。フォローアップとして、リーダー同士の交流を兼ねたオンライン研修も実施

スペシャルインタビュー

初対面のコミュニケーション



ポイント コミュニケーションは双方向が重要

やっぱりコミュニケーションっていうのは双方向ですね



2021年
6月

活動場所別研修 (関内・新横浜)

実際に活動するエリアごとに活動内容などを説明。現地での説明には音声ガイドの活用も図られて、実際の活動エリアへの基礎知識を深めた



↑新横浜の研修会場の様子
←こちらは関内の研修会場。共に会場では座席間隔を十分に設けるなど、徹底した感染症対策が行われた



→コロナ禍での開催だったことから、密を避け短時間の研修とするため、各々が音声聞きながら活動場所を確認する「音声ガイド」を採用した



2021年
10月

City Cast Yokohama 感謝会

CCYを招待した感謝会をパシフィコ横浜ノースで開催。山中竹春横浜市長の挨拶や感謝状贈呈、今大会メダリストたちのトークセッション、ボランティア有識者によるパネルディスカッションやプレゼント抽選会などを実施した。また、会場には地元開催競技の野球、ソフトボール、サッカーの出場選手の直筆サインなども展示され、フォトスポットになっていた



↑↑コロナ感染症対策を徹底した会場でユニフォームを着たCCY約600人が参加。会場の様子はオンラインでも配信された↑山中市長から感謝状が贈られた



↑レスリング銀メダルの文田健一郎選手(左)、同じく銅メダルの屋比久翔平選手(中)、パラ水泳銀&銅メダルの富田宇宙選手がトークセッションに登壇。メダル獲得の瞬間など大会の感動を振り返った←有識者から今後のボランティア活動のヒントを共有された←展示されていた聖火リレーのトーチやユニフォームと一緒に記念撮影するCCYの皆さん

新たなボランティアジャーニーへ!

ごあいさつ

世界中を興奮の渦に巻き込んだラグビーワールドカップ2019™決勝戦に続き、オール横浜で東京2020大会に向けた準備を進める中、新型コロナウイルスが世界的に猛威をふるいました。

オリンピック・パラリンピック史上初となる1年の開催延期、そして、コロナ禍での大会開催という未曾有の状況の中、多くの方々のお力添えを頂戴し、野球・ソフトボール競技、サッカー競技の決勝戦をはじめ、横浜開催が無事終了しました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の皆様、ラグビーワールドカップ2019™東京2020オリンピック・パラリンピック横浜開催推進委員会の皆様、横浜市都市ボランティアの皆様をはじめ、東京2020大会の横浜開催にあたり、多大な御尽力を賜りました全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

横浜市に事前キャンプをお迎えした選手団は、英国やアフリカ各国など12か国に及びます。練習会場や宿泊施設の準備、医療体制の確保など、オール横浜でサポートし、約900名もの選手やスタッフの方々に一人も感染者を出すことなく、大会で活躍していただくことができました。

安全・安心な大会となるよう、万全の環境を整える。そして、横浜にお越しの皆様を温かくおもてなしし、世界中の皆様の記憶に残る、素晴らしい大会にする。そのゴールに向かって、オール横浜で大会をお支えできたことは、横浜の未来につながる大きな実績です。

横浜は、東京2020大会、ラグビーワールドカップ2019™、2002FIFAワールドカップ™と、世界三大スポーツ大会の決勝会場となった、世界で唯一の地となりました。その経験とノウハウを横浜のレガシーとして、今後もしっかりと引き継いでいきます。そして、スポーツが持つ、絆を育む力を信じ、スポーツ都市・横浜として日本を盛り上げていきます。

横浜市長
山中竹春

